

5 行田市認知症ケアパス～認知症の進行と対応の流れ～

認知症の生活機能障害	正常なレベル	正常と認知症の間	認知症の疑い	認知症を有するが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け・介護が必要	常に介護が必要
<p>様子</p> <p>本人の様子・気持ちの例</p> <p>気持ち</p>		<p>物忘れは多いが、日常生活は自立している</p> <p>平均で年間約10%が認知症に進展する。</p>	<p>物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成等を含め、日常生活は自立している</p>	<p>買い物や事務、金銭管理等にミスがみられるが、日常生活はほぼ自立している</p>	<p>服薬管理ができない、電話の対応や訪問者の対応などが1人では難しい</p>	<p>着替えや食事、トイレ等がうまくできない</p>	<p>ほぼ寝たきりで意思の疎通が困難である</p>
		<p>もの忘れについて不安を感じています。</p>	<p>自分の能力低下を感じて不安を感じたり、イライラしたりします。人にできないところを指摘されると怒ったり、何も悪いところはないと見栄をはることもあります。</p>		<p>一人で何かをすることに不安をもち、家にひきこもりがちになったり、常に家族と一緒にいたいと望んだり、怒りっぽくなることもあります。</p>		<p>自分の要求を上手に表現できなくなったり、生活上できないことが多くなります。</p>
	本人	<p>☆ 認知症を予防するため、規則正しい生活を送ります。 ☆ 認知症に関する正しい知識や理解を深めておく。 ☆ 今後の生活設計について考えてみる。</p>					
	本人	<p>☆ 認知症と診断されたら困っていることは支援を活用し、自分の能力を生かした仕事や役割は続けます。</p>					
<p>・やっておきたいこと ・決めていきたいこと (ご家族・周囲の方へのお願い)</p>	家族・周囲の方	<p>本人の気持ちを尊重し、できることを支えながら、失敗を少なくするように手助けしましょう 今まで出来たことが少しずつできなくなります。失敗体験は本人の自信を喪失させ、症状を悪化させることもあるので、本人の気持ちを尊重しながらさりげないフォローをしましょう。</p> <p>医療や介護について知識を深めましょう 認知症を引き起こす病気により今後の経過や、介護の方法が異なります。間違った対応は本人の症状を悪化させ原因にもなります。周囲が適切に対応することによりおだやかな経過をたどることも可能です。</p>					
	家族・周囲の方	<ul style="list-style-type: none"> シルバー人材センター、いきいき元気サポーターなどのボランティア、自治会等の地域活動を働きかける。 趣味やレクリエーションを楽しむように働きかける(シニアクラブ、グランドゴルフ、各種クラブ活動、市主催の各種教室等) 家庭内での役割を持ち、継続できるようにする。 いつもと違う、何か様子がおかしいと気づいたら早めに、地域包括支援センターに相談する。 	<ul style="list-style-type: none"> 接し方の基本やコツを理解する。 家族間で介護のことについて話し合っておく。 介護で困ったことがあったら抱え込まず、はやくめに地域包括支援センターや担当ケアマネジャーに相談する。 		<ul style="list-style-type: none"> 介護者自身の健康管理を行なう。 介護サービスを上手に利用する。 介護者の負担が増えるため、困ったことがあったら担当ケアマネジャーや地域包括支援センターに相談する。 		<ul style="list-style-type: none"> 日常生活でできないこと(食事・排泄・清潔を保つなど)が増え、合併症を起こしやすくなることを理解する。 どのような最期を迎えるか家族間で話し合っておく。
介護予防・悪化予防	<p>病気予防</p> <p>生活習慣の見直し</p> <p>人との交流的活動</p>	<p>特定健康診査、後期高齢者健康診査、がん検診、骨粗しょう症検診、歯周疾患検診、健康づくり教室、高齢者に肺炎球菌ワクチン予防接種、高齢者インフルエンザワクチン予防接種等</p> <p>地域活動(自治会、シニアクラブ、スポーツ活動、環境活動等)、シルバー人材センター、老人福祉センター、公民館活動、自主的な趣味活動</p> <p>訪問介護・通所介護・通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション</p> <p>介護予防事業(はつらつ教室、ながちか体操など)、社会福祉協議会の各種事業・訓練室、いきいきサロン</p>					
相談	地域包括支援センター		ケアマネジャー・地域包括支援センター				
医療・介護	<p>診断を受け、治療を進める：かかりつけ医(認知症サポート医、認知症対応力向上研修修了医等)、精神科医、認知症疾患医療センター、認知症専門医</p> <p>自分で通院できないときは往診：往診医、在宅歯科診療、訪問薬局</p> <p>訪問介護、訪問入浴、通所介護、通所リハビリテーション、訪問看護</p>						

5 行田市認知症ケアパス～認知症の進行と対応の流れ～

認知症の生活機能障害	正常なレベル	正常と認知症の間	認知症の疑い	認知症を有するが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け・介護が必要	常に介護が必要
他者とのつながり支援	介護予防事業(はつらつ教室、ながちか体操などの各種教室)、いきいきサロン、シニアクラブ、サークル活動、ボランティア団体、認知症カフェ(オレンジカフェ等)						
	訪問介護・通所介護・通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション						
安否確認・見守り	近隣住民、自治会、民生委員、地域包括支援センター相談協力員、新聞配達、公共料金検針員等、認知症サポーター						
	配食サービス、乳酸飲料配達サービス						
	緊急通報システム、安心安全キット、徘徊探索サービス、徘徊SOSネットワークシステム、介護マーク、徘徊高齢者等早期発見シール						
生活支援	配食サービス、民間配食						
	いきいき元気サポーターによる軽度家事援助、付き添い支援、シルバー人材センターによる家事援助、庭の手入れ等						
家族支援	地域包括支援センター			地域包括支援センター、居宅介護支援事業所			
	介護者教室、認知症相談、認知症カフェ(オレンジカフェ等)						
	訪問介護、訪問入浴、通所介護、訪問看護、短期入所生活介護、短期入所療養介護						
住まい サービス付き高齢者住宅等	自宅						
	軽費老人ホーム			グループホーム、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム			
	サービス付高齢者住宅、有料老人ホーム						